

関税局長からのメッセージ



関税局長
諏訪園 健司

税関は昨年（令和4年）11月28日に150周年を迎えました。明治開国以来、税関は、常に新しい時代の変化に柔軟に対応し、我が国の経済の発展と社会の安定に貢献してきました。

税関では、安全・安心な社会を実現するため、不正薬物や拳銃等の社会悪物品の密輸取締りを行っています。税関における不正薬物の水際の押収量は7年連続で1トンを超えており、深刻な状況が続いています。本年（令和5年）にはG7広島サミット、令和7年には、大阪・関西万博が予定されており、税関一体となって厳格な取締りを行う必要があります。

また税関は、徴収機関として適正かつ公平に関税等を徴収することや、貿易の円滑化を推進することも重要な使命としています。令和4年1月には、世界のGDP、貿易総額、人口の約3割を占める地域的な包括的経済連携（RCEP）協定が発効し、経済連携協定のさらなる利用機会の拡大が見込まれています。このような経済連携協定の

交渉なども関税局・税関の重要な役割となっています。

税関を取り巻く環境は、越境電子商取引（EC）の拡大による輸入貨物の急増及び経済連携協定等の更なる進展等による国際的な商流・物流の変化、民間部門を起点とした経済社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）化の急速な進展、経済安全保障上の脅威への対処を含む新たなニーズの出現など、内外のダイナミックな構造変化の流れを受けて、大きく変化しています。

税関はこのような環境変化に常に柔軟に対応し、更なる飛躍を遂げることが求められています。税関での幅広い執行業務に携わることに加え、財務省での政策や税関行政の企画立案、国際機関等の海外での活躍の機会も広がっています。熱い情熱と何事にも柔軟に挑む発想力を持ち、新しい時代の税関をともに築いていく皆さんをお待ちしております。

世界最先端の税関を目指して

経済活動のグローバル化が急速に進む中、3つの使命を税関は果たしています。

税関の使命

- 1 安全・安心な社会を実現する
銃器・不正薬物・知的財産侵害物品等の密輸を阻止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を構築
- 2 適正かつ公平に関税等を徴収する
約11.2兆円すなわち国税収入の約15.5%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税等を徴収
- 3 貿易の円滑化を進める
国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力やIT化の推進などを通じ、通関手続を一層迅速化

税関職員は、5つの行動指針に則って、3つの使命遂行に取り組んでいます。

税関職員の行動指針

- ◎ 誠実に行動し、社会からの信頼と期待に応えます。
- ◎ 誇りと使命感を持って、業務に取り組めます。
- ◎ 円滑なコミュニケーションを図り、チームで前進します。
- ◎ 改善意識を高め、日本と世界の変化に機敏に対応します。
- ◎ 自ら学び考え、プロフェッショナルとして成長します。

